

八ヶ岳通信

— 総合博物館 —

農業用水を拓いた さかもと ようせん 「坂本養川コーナー」開設



平成 14 年 4 月より学習指導要領が改定され教科書が新しくなりました。

茅野市をはじめ全国の約半数の小学 3・4 年生が使用する社会科教科書（東京書籍発行）に、坂本養川により八ヶ岳山麓に開削された農業用水（せぎ）や昔の暮らしについて 30 ページにわたり取り上げられ子どもたちの学習が始まっています。

これを契機に博物館では、昨年 7 月、せぎの開削に尽くした坂本養川の業績を広く知ってもらおうと館内に坂本養川コーナーを開設しました。

今から約 250 年前、坂本養川は、田沢村（現茅野市宮川田沢）に生まれ若くして名主となり、新田開

発により水不足の南麓へ水を回すせぎ（繰り越しせぎ）を 15 本ほど作りました。あの蓼科横谷峡にかかる乙女滝も養川による大河原せぎの一部なのです。

博物館では、坂本養川の開削した繰り越しせぎの仕組みや模型をはじめ、諏訪の農業用水と坂本養川の年表、諏訪盆地のせぎ図、せぎの写真などのパネルをわかりやすく展示しています。また、大型スクリーンでは、「当時の暮らしを確かめる」や「せぎと養川」、「くりこしせぎ」とはなんだろうなどの DVD を上映できるようにしています。ぜひご覧くださるようお待ちしております。

茅野市 5000 年 尖石縄文まつり '02

縄文まつりが10月13日楽しく行われました。



人気の熱気球、風が強くてちょっと残念。



フリーマーケット。



縄文の里ウォーク
仮面の女神が出土した中ッ原遺跡から歩きました。



とがりっち工房では勾玉作りが人気。



「とがりんびっく」は他にも石投げ、やり投げなどがあります。



勇壮な縄文太鼓 衣装も凝っています。



ブタの丸焼きは毎年長蛇の列。



縄文火祭りでの土器の野焼き。

今年は10月12日（日）に開催予定。ぜひ遊びに来てください。

中ッ原縄文公園竣工おんばしら特集

「仮面土偶（愛称：仮面の女神）」が発見されました中ッ原遺跡は遺構保護のため出土地周辺を埋土により保存して整備を行い、仮面土偶の出土状態は出土遺構に復元し、方形柱穴列には柱を建てて平成 14 年 10 月 20 日「中ッ原縄文公園」としてオープン致しました。今回は当日のグラフ特集です。



参加者全員で安全祈願のお浄め。



長持ちの練り込み。



花笠踊り。



いざ中ッ原縄文おんばしらスタート。



出土状態の展示施設を除幕。



力を合わせて建ておんばしら。



巨大おんばしら建立。

「小堀四郎」 洋画作品 15 点

昨年8月、茅野市にゆかりのある洋画家小堀四郎画伯の作品15点を、長男である小堀鷗一郎氏より寄贈していただきました。小堀画伯は昭和20年～30年の間蓼科高原の別荘で生活をされ、この10年間で小堀四郎たる芸術の奥深い精神性が表現されています。15点の中から3点ご紹介いたします。



二十世紀風景(A) P120号



二十世紀風景(B) P120号



春の摘み草 P10号

※P120号・10号:キャンバスの大きさ

— 守 矢 史 料 館 —

守矢文書と前宮周辺

本館では、平成14年10月19日（土）より11月24日（日）まで企画展「守矢文書と前宮周辺－荒玉社周辺遺跡を中心として－」を開催しました。この企画展では平成13年と14年に発掘調査を行った荒玉社周辺遺跡が、『守矢満実書留』に見られる「大町」と考えられ、歴史学と考古学から現在の諏訪上社前宮前方に広がる場所の景観を考えていこうというものです。

「大町」という地名は、『守矢満実書留』の文明2年（1469）4月18日にみられるのが初めてです。文明12年（1479）2月6日と3月5日には「悪党」によって放火された記述があります。この放火は府中（松本市）の小笠原長朝と下社の金刺興春が悪党を使って放火したと考えられています。発掘調査の時に、場所によっては集中的に炭化物が検出されたところがあり、放火された場所であることが考えられます。また、文明14年（1481）5月25日・閏7月25日には大雨による洪水がおこり、大町などが押し流されたという記述があります。発掘調査の結果、3回建て直された

— 古文書と考古資料から語る歴史 —

礎石建物址が発掘され、この建て直しの原因として、文明12年の放火と文明14年の洪水が考えられます。

文明15年1月8日に大祝諏方継満が、惣領の諏方政満を殺害するという事件がありました。これにより大町は衰退したと思われますが、天文11年（1542）の『守矢頼真書留』には「安国寺の門前大町」という記述があり戦国時代になっても大町があったことがわかります。しかし、この時期の遺跡や遺物が発掘の結果得られなかったので室町時代の大町とは地点が異なっていたことが考えられます。



礎石建物址

茅野市の博物館・文化財課より 八ヶ岳通信 No.21 発行年月日 平成15年3月27日

編集・発行	茅野市尖石縄文考古館	〒391-0213	茅野市豊平4734-132	TEL (0266) 76-2270
	茅野市八ヶ岳総合博物館	〒391-0213	茅野市豊平6983番地	TEL (0266) 73-0300
	文化財課	〒391-8501	茅野市塚原2丁目6番1号	TEL (0266) 72-2101
	茅野市美術館	〒391-0011	茅野市玉川500番地	TEL (0266) 73-5440
	茅野市神長官守矢史料館	〒391-0013	茅野市宮川389番地の1	TEL (0266) 73-7567